

ヒト・霊長類比較解剖学分科会 ヒラメ筋を考える

11月5日 E会場 13:00-14:40

オーガナイザー：影山 幾男（日本歯大・新潟生命歯）

ヒトヒラメ筋は直立二足歩行というヒトに特有なロコモーションによく適応した特徴を有している。ヒトヒラメ筋の筋構築は複雑で、筋の前面(腹側面)に羽状を呈する筋性部が存在するが、個体差も多い。そこで、田平先生にヒトヒラメ筋の肉眼解剖学的・組織学的特徴についてご講演をお願いした。次に、伊藤先生にニホンザルを題材としてヒト以外の霊長類のヒラメ筋筋構築についてご講演をお願いした。ところで、ヒトヒラメ筋の神経支配には、筋の後面と前面から進入する2種類が存在する(R. posterior, R. anterior: Frohse&Frankel(1913))。R. anteriorは羽状筋部に進入し、この部を支配する。しかし、羽状筋部欠損例においてもR. anteriorは存在するという所見もある。また、羽状筋部の存在しないヒト以外の霊長類においては、R. anteriorに相当する神経が存在しない種がある一方、筋の前面に進入する細い神経が存在する種もあり、単純ではない。そこで関谷先生に、霊長類ヒラメ筋支配神経の比較解剖学についてご講演をお願いした。以上より、筋線維構築、筋線維タイプ構成、支配神経の分析からヒラメ筋の基本構成と特殊化について、理解を深めたい。

S8-1 ヒトのヒラメ筋の筋構築と筋線維タイプ／田平 陽子（久留米大・医）

S8-2 筋線維構成からみたヒラメ筋の形態特徴について／伊藤 純治（昭和大・保健医療）

S8-3 霊長類ヒラメ筋支配神経の比較解剖／関谷 伸一（新潟看護大）